

第9回（令和元年度第2回）認知症リンクワーカー・フォローアップ研修 開催要領

- 1 **趣 旨** 新・京都式オレンジプランでは、当事者視点を更に浸透させるため、10のアイメッセージ評価や本人ミーティングの普及を掲げており、認知症リンクワーカー等の支援者が、本人の思いを聴き、本人の声をもとにした地域づくりのスキルを習得することにより、認知症の人が住み慣れた地域で暮らし続けられる社会の構築に資する。
- 2 **主 催** 京都府
- 3 **対象者**
 - ①認知症リンクワーカー養成研修修了者
 - ②市町村認知症施策担当者、認知症地域支援推進員、地域包括支援センター職員、認知症カフェ運営者
 - ③認知症の人とその家族を支えるためのケアマネジャー研修修了者
 - ④認知症対応型通所介護事業所職員
 - ⑤小規模多機能型居宅介護事業所職員
 - ⑥認知症対応型共同生活介護事業所職員
 - ⑦認知症疾患医療センターの地域連携担当者、京都府保健所認知症施策担当者 等
- 4 **日 時** 令和元年10月31日（木）13時15分～16時15分
- 5 **会 場** 京都府医師会館 3階310会議室（京都市中京区西ノ京東梅尾町6 JR二条駅前）
- 6 **テーマ** 認知症の人の居場所づくり
- 7 **プログラム（案）**

時 間	内 容
13:15～13:20 (5)	オリエンテーション
13:20～13:45 (25)	実践報告 「認知症リンクワーカー養成研修から学んだ実践」 講師：精華町北部地域包括支援センター 看護師 岡田 典子氏
13:45～14:35 (50)	講演 「デイサービス利用者が「働く」ための支援 ～デイサービスにおける社会参加活動の取組～（仮）」 講師：高齢者福祉施設西院 所長 河本 歩美氏 高齢者福祉施設西院 田端 重樹氏
14:35～14:50 (15)	休憩
14:50～16:10 (80)	グループワーク 「認知症の人の居場所を考える」 ファシリテーター：一般社団法人京都社会福祉士会 会長 福富 昌城氏 アドバイザー：河本歩美氏、田端 重樹氏
16:10～16:15 (5)	事務連絡

8 高齢者福祉施設西院の取組紹介

2018 年、京都市西院老人デイサービスセンターで、高齢の利用者が有償で働くことを通じ、社会参加を目指す取り組みを始める。利用者は京都市中京区のセレクトショップ「mumokuteki 京都店」で販売する木製のまな板とカッティングボードの製作の最終工程に携わっている。ブランド名は「sitte」、コンセプトは以下のとおり。

「sitte」のコンセプト

「sitte」の名称には「sitte」を通じて、より豊かな人と社会と人生の在り方を「知って」ほしいという思いが込められています。西院デイサービスを利用するのは、認知症であったり、何かしら支援が必要な人たちです。それは誰しもの＝自分の行先＝にあるかもしれない、ひとつの状態です。要介護状態であっても、何もできなくなったわけではないこと。認知症であっても、できる環境を整えればやれることがたくさんあること。前むきに頑張ろうと、笑顔で人生を楽しみ、誰かの役に立ちたいと願う利用者の想いを「知って」ほしい。常に実社会や地域とつながる運営を目指す西院デイサービスの取組がカタチとなったもの、それが「sitte」です。

9 申込方法

- (1)①認知症リンクワーカー養成研修修了者、②市町村認知症施策担当者、認知症地域支援推進員、地域包括支援センター職員、認知症カフェ運営者（京都認知症カフェ連絡会非会員）は、別紙「受講申込書」を在職している市町村認知症施策担当課まで送付してください。各市町村においては、提出のあった出席者連絡票をとりまとめの上、10月9日（水）までに京都府高齢者支援課あて、ファクシミリもしくは電子メールにて送付ください。
- (2)②認知症カフェ運営者（京都認知症カフェ連絡会会員）、③認知症の人とその家族を支えるためのケアマネジャー研修修了者、④認知症対応型通所介護事業所職員、⑤小規模多機能型居宅介護事業所職員、⑥認知症対応型共同生活介護、⑦認知症疾患医療センター地域連携担当者及び京都府保健所認知症施策担当者は、別紙「受講申込書」を10月9日（水）までに京都府高齢者支援課あて、ファクシミリもしくは電子メールにて送付ください。

10 定員等

100名（参加費無料）

※申込後、受講者へはご連絡いたしませんので、直接会場へお越しください。

11 問い合わせ・申込先

京都府高齢者支援課地域包括ケア推進担当 担当：中村主任

電話：075-414-4573 FAX：075-414-4572

Eメール：a-nakamura37@pref.kyoto.lg.jp